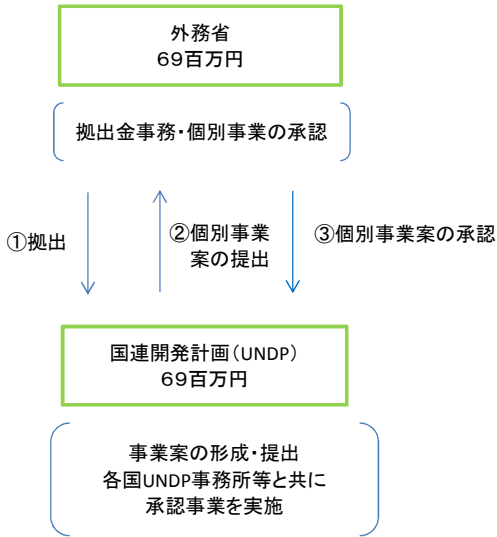


平成25年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	国際連合開発計画 (UNDP) 拠出金 (TICADプロセス推進支援) (任意拠出金)			担当部局庁	中東アフリカ局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度開始。平成23年度より「アジア・アフリカ協力基金拠出金」(AA基金) から「国際連合開発計画拠出金 (TICADプロセス推進支援)」に変更。			担当課室	アフリカ第2課			課長 麻妻 信一	
会計区分	一般会計			政策・施策名	VII-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項			関係する計画、通知等	第20回国際連合総会決議2029				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成22年度までは、我が国の対アフリカ外交資産であるアフリカ開発会議(TICAD)プロセスが開始当初から重視してきたアジア・アフリカ協力の具体的な推進を目指してきた。TICADプロセスの進展を受け、平成23年度からは「TICADプロセス推進支援拠出金」に名称を改め、TICADプロセスをマルチの取組として促進するとともに、TICAD行動計画に沿った具体的な取組を推進し、TICADプロセスの効果的・効率的な運営及びアフリカ地域機関の能力強化と我が国との関係強化を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成22年度までのAA基金では、主にアジア・アフリカ協力の推進を目的とした各種プロジェクトの実施を通じ、TICADプロセスの推進を図ってきた。その後、「成長の加速化」(TICAD IVの重点項目)への取組として、アフリカ諸国及びアフリカ地域機関を対象に、TICAD共催者であるUNDPのノウハウやネットワークを活用し、二国間での協力を進めにくい貿易・投資・観光等の分野に焦点を絞ったプロジェクトやアフリカ地域機関の能力強化、TICAD V関連事業等の案件を実施。今後は、本年6月のTICAD Vの成果文書に沿った取組として、特に対アフリカ民間投資促進に資する事業やフォローアップ関連活動等を中心に実施していく方針。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	92	76	69	74			
		補正予算	-	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-	-			
		計	92	76	69	74			
	執行額		92	76	69				
	執行率 (%)		100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	目標:貿易・投資分野を中心とするTICADプロセスの推進実績:TICAD IV時公約である日本の対アフリカ直接投資残高(5か年平均)(目標値は2012年末時点で34億ドル・参考指標)は達成済。なお、本年6月のTICAD Vで採択された「横浜行動計画2013-2017」では、貿易・投資分野の取組として、(1)アフリカ全貿易量に占める域内貿易の割合の拡大、(2)アフリカにおけるビジネス環境の改善(3)アフリカの輸出量の増加等を掲げている。			成果実績	億米ドル	61	80	68	34
				達成度	%	179	250	213	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)					単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	TICADプロセスの推進に資する事業を各年度につき1件以上実施する。			活動実績 (当初見込み)	件	2 (1件以上)	3 (1件以上)	4 (1件以上)	— (1件以上)
単位当たりコスト	35 (百万円/事業)			算出根拠	22年度 92,292千円 23年度 170,316千円 24年度 52,031千円 計 314,639千円 ÷ 9事業				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	拠出金		74						
	計		74						

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	アフリカ開発は主要国である我が国にとっての責務であり、我が国はTICADを通じて国際的な議論を主導。本基金は右プロセスをUNDPの協力を得て推進する上で我が国政府が実施すべき重要な事業。UNDPはアフリカ全諸国にネットワークを有し、他の機関では代替困難。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	資金の運用にあたってはUNDPの内規に則り厳正な管理がなされている。使途はTICADプロセス推進に資するものに限定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	アフリカの全ての国に事務所を有しており、国際社会でアフリカ開発に関する主要な役割を担うUNDPと協力する意義は大きい。また、本件拠出金を活用して同機関が作成する広報資料等の成果物は広く活用されている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	平成23年度から、TICADプロセスのより具体的な推進に資する事業内容に対する拠出とすることを目的として、前年度までの「アジア・アフリカ協力基金拠出金」を改め、「TICADプロセス推進支援」として拠出することになった。併せて、平成22年度をもってそれまで本拠出金にて雇用していたUNDP・TICAD部3名のポストを廃止し、実施体制の抜本的な見直しを行った。これにより、本基金の適正な資金管理が強化され、TICADプロセス本体の進展や本年6月のTICAD Vに開催に資する事業に対し効果的・効率的な支出がなされるようになるなった。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	113	平成23年	142	平成24年	142

個別事業名 国際連合開発計画（UNDP）拠出金（TICADプロセス推進支援）（任意拠出金）

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

個別事業名 国際連合開発計画（UNDP）拠出金（TICADプロセス推進支援）（任意拠出金）

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A. 国連開発計画（UNDP）			E.		
	費目	使途	金額 （百万円）	費目	使途	金額 （百万円）
	拠出金	TICADプロセス推進支援	69			
	計		69	計		0
	B.			F.		
	費目	使途	金額 （百万円）	費目	使途	金額 （百万円）
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 （百万円）	費目	使途	金額 （百万円）
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費目	使途	金額 （百万円）	費目	使途	金額 （百万円）
	計		0	計		0

個別事業名： 国際連合開発計画（UNDP）拠出金（TICADプロセス推進支援）（任意拠出金）

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国連開発計画	TICADプロセス推進支援	69	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					